

策定の考え方

【計画期間】

○令和6（2024）年度から令和17（2035）年度までの12年間

【目標の設定】

- 総合目標の設定 「健康寿命の延伸」 「健康格差の縮小」
- 分野別目標の設定
都民の健康への関わりが特に大きく対策が必要な項目を設定予定

最終評価から見えた課題

- プラン全体では改善した項目が多いが、以下のような課題が挙げられる
- 働く世代を中心に生活習慣病予防の取組を一層推進するため、中小企業の取組を支援するなど、事業主や医療保険者などの職域と連携した取組が必要
 - 生活習慣に関する項目の悪化が目立つ女性に対し、その特性を踏まえ、生活・労働環境等を考慮しつつ、人生の各段階における健康づくりの支援が必要
 - 生活習慣改善につながる環境づくりの推進や多様な主体の取組促進など、健康づくりを社会全体で支え、守る環境整備が必要

計画期間中の主なスケジュール案

○12年間の計画期間中、国での中間評価や最終評価のスケジュールを踏まえ、都では以下のスケジュールで中間評価、最終評価を進める

【ベースライン値の考え方】

- 国における目標項目のベースライン値の考え方に倣い、**ベースライン値は計画期間初年度(令和6年度)までの最新値とする。**
- ただし、65歳健康寿命、国民健康・栄養調査の数値の把握時期を考慮し、**令和8年度までに把握した、計画期間初年度(令和6年度)までの値をベースライン値とする。** ※中間評価は令和11年度までに、最終評価は令和15年度までに把握した直近の値を現状値として評価する

	2022年度 R4	2023年度 R5	2024年度 R6	2025年度 R7	2026年度 R8	2027年度 R9	2028年度 R10	2029年度 R11	2030年度 R12	2031年度 R13	2032年度 R14	2033年度 R15	2034年度 R16	2035年度 R17
健康日本21	第二次		第三次											
国民健康・栄養調査			★ 大規模調査	結果公表	ベースラインの提示		★ 大規模調査	結果公表	中間評価		★ 大規模調査	結果公表	最終評価	プラン作成
東京都健康推進プラン21	第二次		第三次											
65歳健康寿命の算出	R3 算出公表	R4 算出公表	R5 算出公表	R6 算出公表	R7 算出公表	R8 算出公表	R9 算出公表	R10 算出公表	中間評価	R11 算出公表	R12 算出公表	R13 算出公表	R14 算出公表	最終評価 プラン作成

<主なデータソース> ※プラン21（第二次）の指標をもとに例示

国民健康・栄養調査再集計	H29-R1 再集計			R4-R6 再集計				R7-R9 再集計					R11-R13 再集計	
国民生活基礎調査（大規模調査） （厚生労働省）		R4 結果		R7 結果				R10 結果			R13 結果			
人口動態統計特殊報告 （厚生労働省）		R2 数値					R7 数値						R12 数値	

赤枠のうち、点線はベースライン値、二重線は中間評価時の現状値、実線は最終評価時の現状値を示す